

平成30年度第2回 松山市立地適正化及び交通網形成検討協議会



銀天街入口から市駅前を望む

■ ■ 松山市駅前広場改変構想(案) ■ ■

1. 背景と目的	2
2. 鉄軌道・バス・タクシーの利用者数	2
3. 広場の利用状況	2
4. 広場の課題	3
5. 広場改変の方針	3
6. 広間改変の検討	4
7. 広場改変構想(案)	4
8. 今後の課題整理	4

《鉄軌道検討部会》

第1回開催	(H27.8.28)	鉄軌道交通の現状、シームレスについて
第2回開催	(H27.12.22)	鉄軌道交通の将来像、路面電車の郊外線乗入れ
第3回開催	(H28.6.8)	路面電車の郊外線乗入れ、市駅前広場の改変
第4回開催	(H28.8.25)	市駅前広場の施設状況、方向性
第5回開催	(H29.8.17)	市駅前広場の改変検討
第6回開催	(H30.6.14)	市駅前広場の構想(検討案)

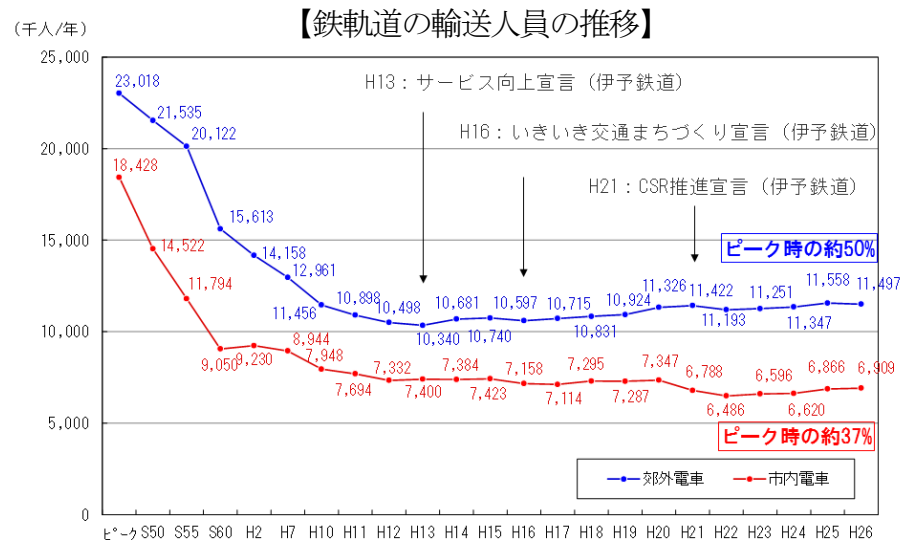
平成30年9月27日
松山市立地適正化及び交通網形成検討協議会

1. 背景と目的

本市は、人口減少、超高齢社会の進行、経済の低成長などを背景に、過度な自動車利用から多様な交通手段が利用できる「歩いて暮らせる街」を目指し、コンパクトなまちづくりを進めている。そこで、全国に17都市しかない路面電車を活かした公共交通の乗り継ぎ利便性や安全性などの環境整備を進めるために、松山市駅前広場のシームレス化に取り組むものである。

2. 公共交通の利用状況

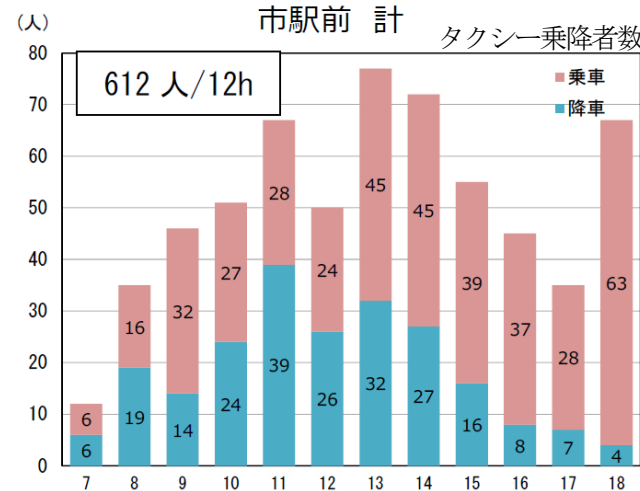
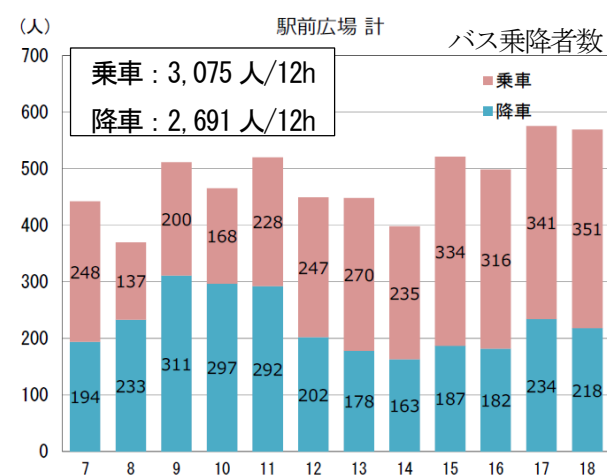
(1) 鉄軌道の輸送人員「資料：伊予鉄道株式会社」



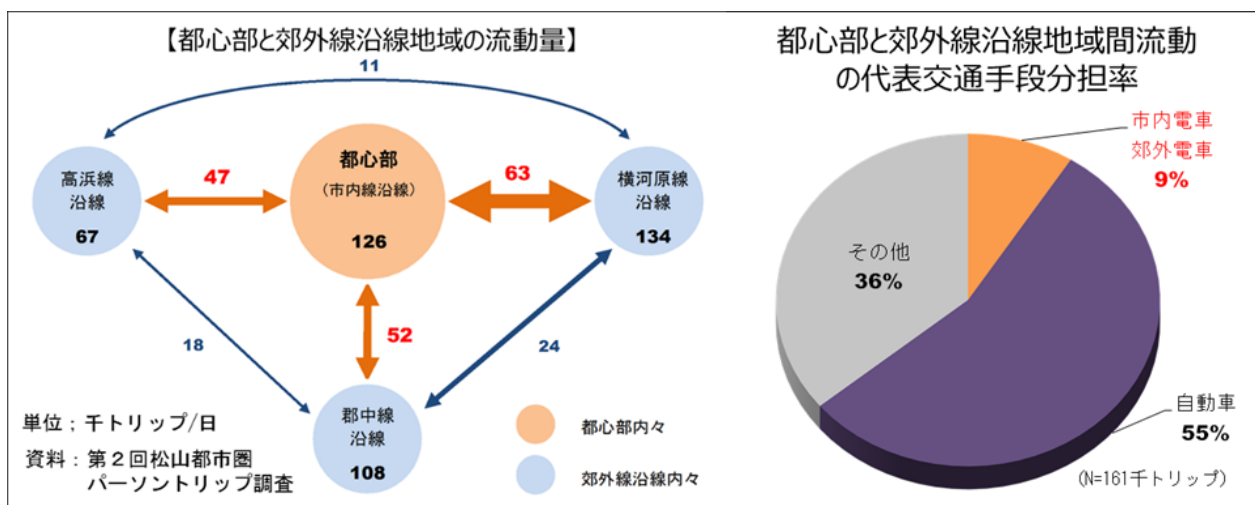
【H28 年度】

	郊外電車	市内電車
営業距離(キロ)	高浜線 9.4 横河原線 13.2 郡中線 11.3	市内線 9.6
車両数(両)	55両	38両
利用者数(年)	11,998,000人	7,005,000人
松山市駅の乗降客数(年)	7,054,000人	2,954,000人
乗降客数(日)	19,330人	8,090人

(2) バス・タクシー乗降者数「資料：松山市調査(H25.11.26(火))」



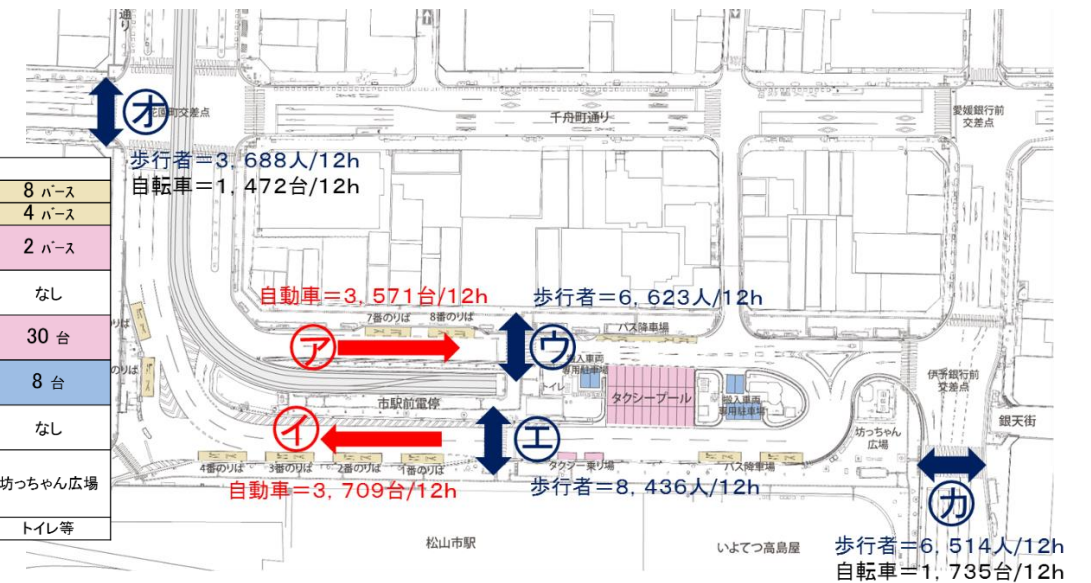
(3) 都心部の公共交通利用特性「資料：第2回松山都市圏パーソントリップ調査(H19 年度)」



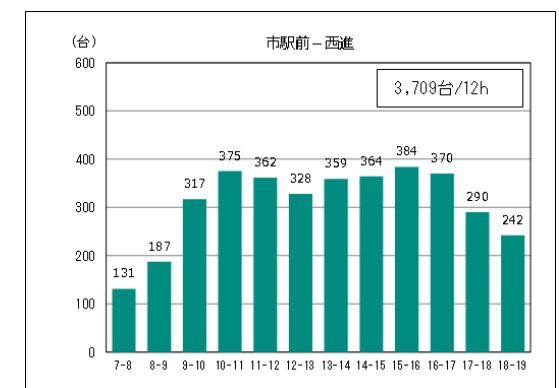
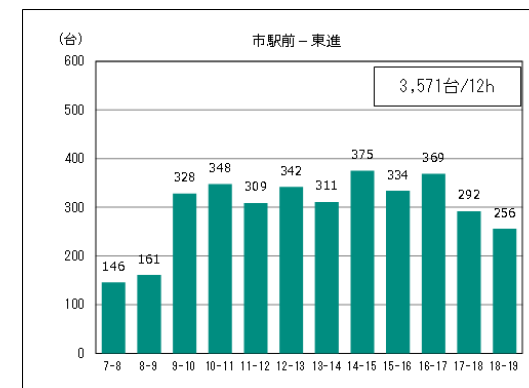
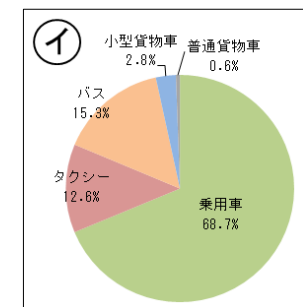
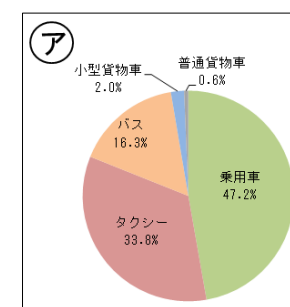
3. 広場の利用状況

(1) 施設状況

機能・施設	
バス乗り場	8 バース
バス降り場	4 バース
タクシー乗り場	2 バース
自家用車乗降場	なし
タクシー駐車場	30 台
駐車場(荷捌き用)	8 台
駐車場(一般用)	なし
交流機能	待合所等
景観機能	緑・親水等空間
サービス機能	トイレ等

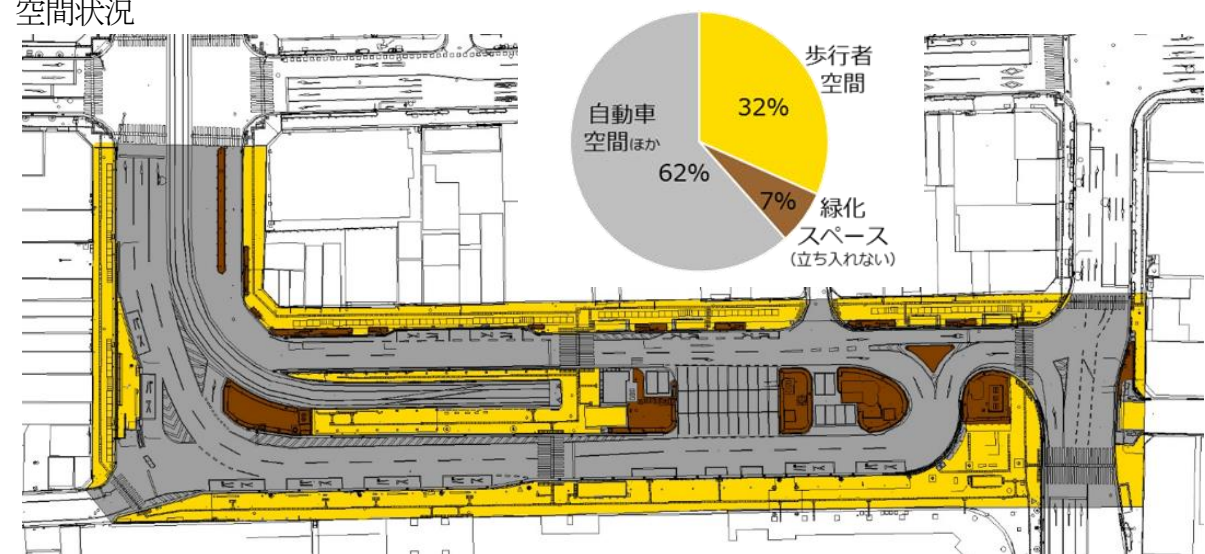


(2) 自動車交通量 (平日)・・・㉞・㉟「資料：松山市調査(H23.11.15(火))」

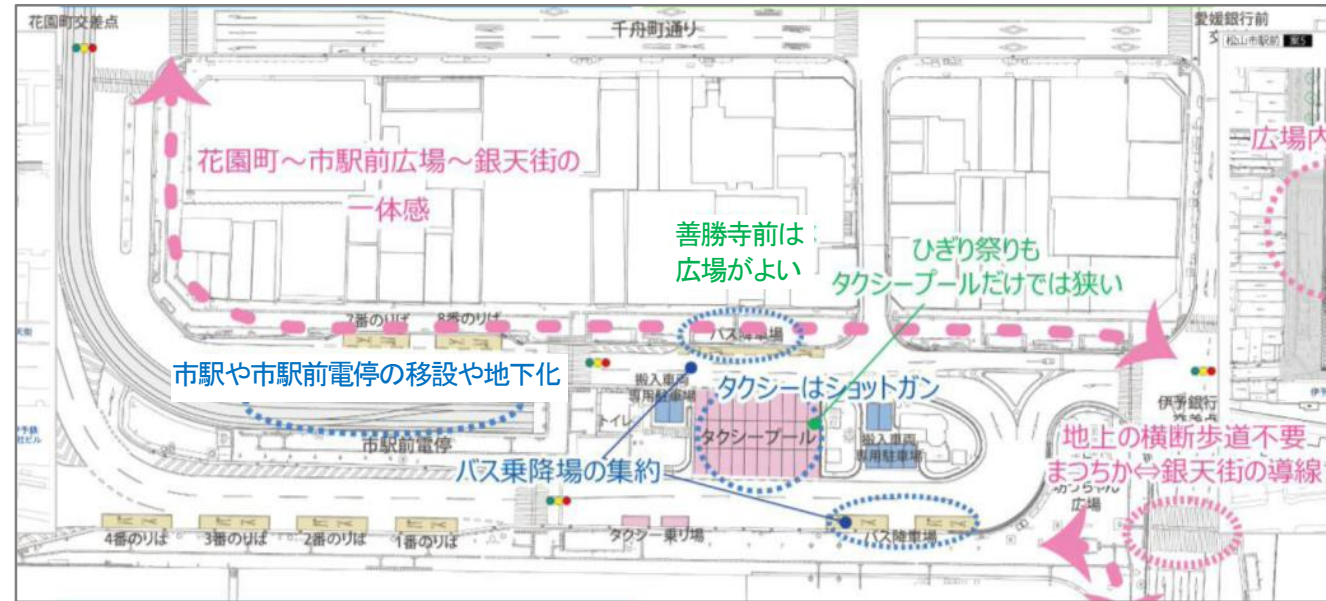


(3) 自転車・歩行者通行量 (平日)・・・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳「資料：松山市調査(H24.10.24(火),H25.11.26(火))」

(4) 空間状況



4. 広場の意見 (ワークショップを3回開催)



交通機能について

<公共交通（バス・電車・タクシー）>

- ・駅の移動や地下化
- ・路面電車の南への移設は可能か。
- ・バス乗降場の集約化
- ・高速・市内バスの分離・集約化
- ・タクシープールは不要（ショットガン方式で回す）
- ・電車のシームレス化（一方で・・・）
- ・電車が離れることに不安を感じる方もいる。
- ・広場が一番だがバス等の必要なものはいる。

<自動車交通>

- ・塾の送迎・高島屋のための道路となっている
- ・自動車を通すのはもったいない（将来クルマは減る）（一方で・・・）
- ・ある程度の車道は必要。
- ・まつちか店舗への商品搬入路は必要。

広場空間の機能について

<広場空間のイメージ>

- ・観光客がバスや電車を降りて、広々と感じられるイメージが必要。
- ・善勝寺の前は広場であってほしい。
- ・芝などの緑が広場。
- ・広場が分散するのは中途半端ではよくない。
- ・少しでも大きく広場を確保すべき。
- ・海外の駅前のイメージが望ましい（ゆとり）（一方で・・・）
- ・堀之内に芝生があるのに市駅前に芝生が必要か。

<具体活用案>

- ・フットサルやバスケットボール等のイベントに活用。
- ・遊び場がほしい。
- ・保育園が園児を市駅前広場で遊ばす⇒愛着。
- ・ひぎり祭りもタクシー乗場だけでは狭い。
- ・堀之内で常時イベントするには限界がある。

人の流れ・動線について

<市駅周辺とのつながり>

- ・まつちか～銀天街の導線は必要。（⇒銀天街への地上の横断歩道は不要。）
- ・銀天街・花園町との一体感が必要。
- ・県病院とのつながりを考えて欲しい。

<地域の魅力向上>

- ・商売は自主努力である。
- ・魅力があれば人は集まる。
- ・まつちかに誘導するには魅力的な店が必要。
- ・観光客を呼び込んでかなければ人は減る。
- ・中高生を市駅前に引き込む仕掛けが必要。

<配置案に対する意見>

- ・広場の中に軌道があると安全性が懸念⇒富山は小さな踏切がある
- ・信号・横断歩道があると流れが分断される。

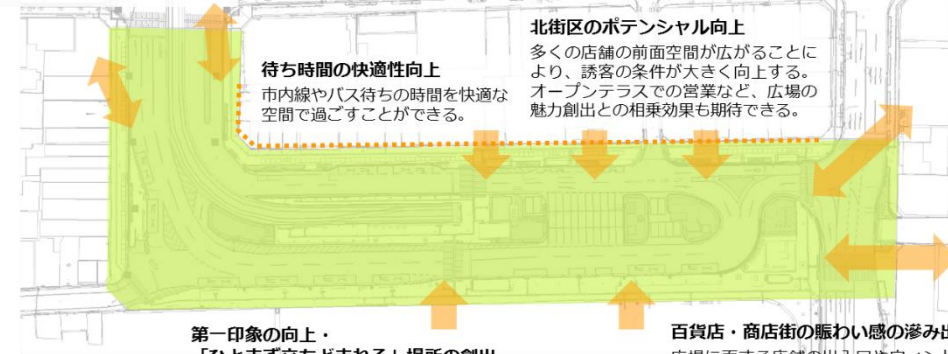


第3回ワークショップの様子

5. 広場改変の方針

花園町方面への動線円滑化

再整備された花園町との歩行者空間と連続的に認識され、スムーズな動線が生まれる。



第一印象の向上・

「ひとまず立ちどまれる」場所の創出

駅を出た来訪者が、ひとまず立ち止まり、周りを見渡し、松山に着いたことを実感する場所ができる。その風景・体験が旅の印象に影響する。

百貨店・商店街の賑わい感のしみ出し

広場に面する店舗の出入口やウィンドウから滲み出す賑わい感やイベントによって、広場と商業施設との一体感を演出することができる。

①移動経路・乗換えのわかりやすさ向上

広場化によって、周囲への視界が広がりやすくなり、目的地の方向や乗換えの場所が見つけやすくなる。また、見つけた場所に向かって、スムーズに歩いて行けるようになる。

②松山市中心市街地のイメージ強化

来訪者と市民が、時間・空間を共有する場所となり、「都市的なエリアに居る」ことの実感を与える広場となる。来訪者に印象を与え、市民の誇りを高揚することにもつながる。

銀天街・千舟町通りへの動線円滑化

銀天街など周辺エリアとの関係が近く感じられるようになることにより、買い物途中の休憩のために市駅前広場を利用したり、立寄り店舗が増えたりすることによる、滞在時間の伸びや消費活動の活性化も期待できる。



参考：トラファルガー広場の再生
かつて、ほとんど観光客のみが訪れる場所だったが、再整備によって様々な属性の人々が、移動途中の休憩など様々な目的や理由で滞在する場所になった。

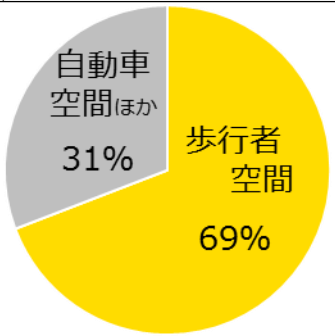
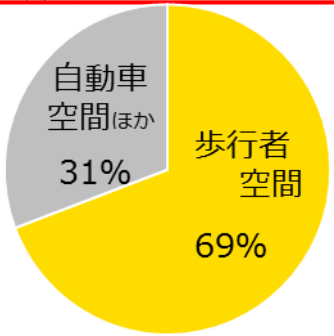
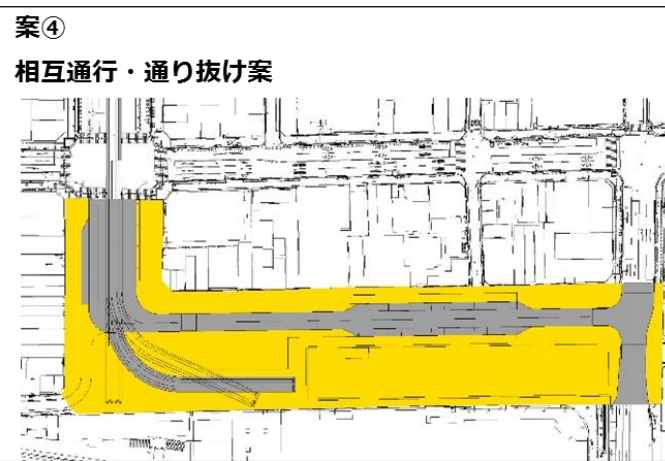
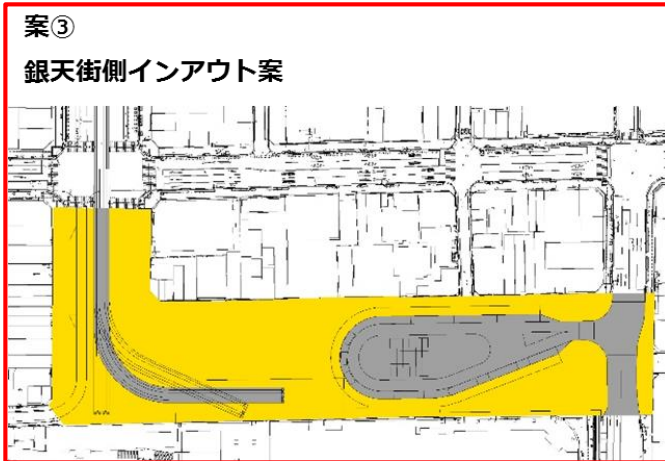
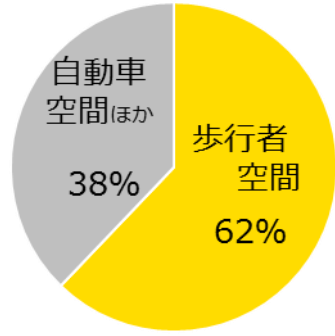
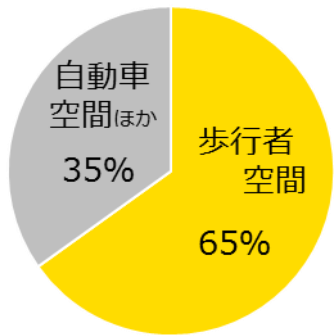
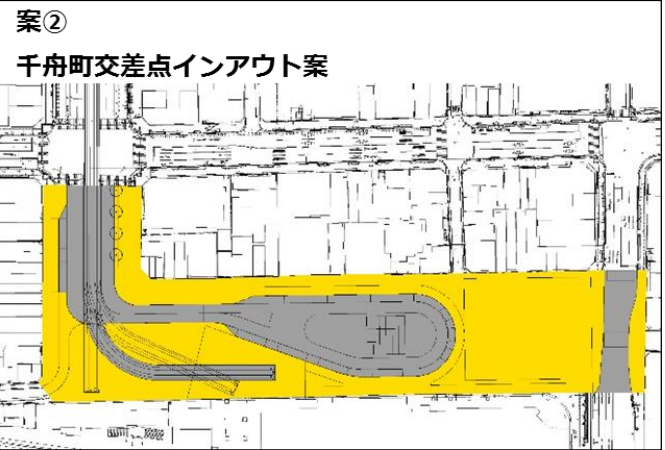
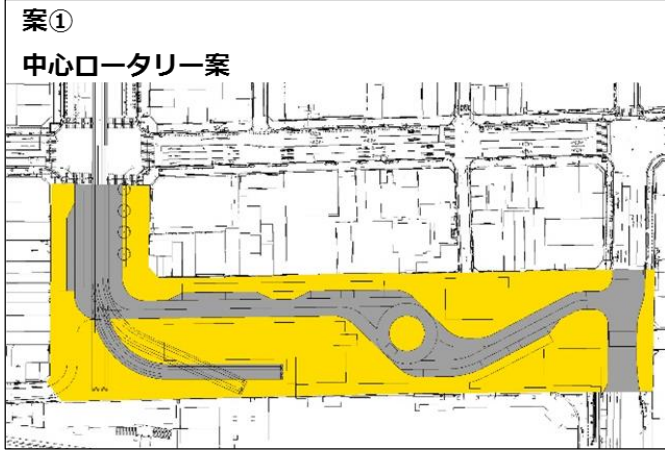
大分駅北口駅前広場（大分県）



道後温泉駅前（松山市）

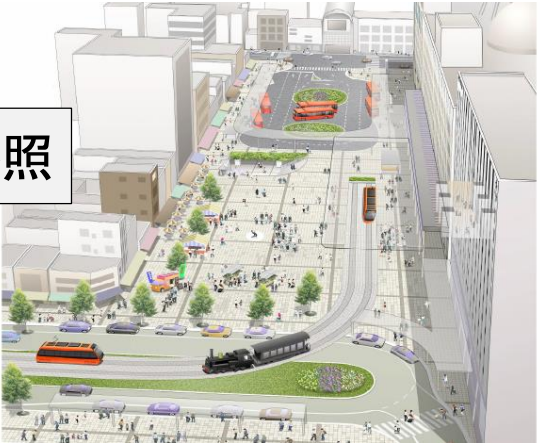


6. 広場改変の検討（4案より空間評価・交通評価）



総合評価	花園町通りと千舟町古川線を結ぶ通り抜け道路を廃止するため、通過交通が抑制できる。
	郊外線コンコースから北側街区を結ぶ強い動線が創出できる。歩行者のつながりは全体的に改善する。
	広場を介して高島屋と北街区との一体的な活用ポテンシャルが高く、花園町～市駅前～銀天街～大街道という街の大きな回遊動線の創出が期待ができる。

7. 広場改変構想（案）



8. 今後の課題整理

市駅前広場改変構想(検討案)に対する関係者の意見				
	整備内容に関する意見(提案)	今後の調査・検討に関する意見	ソフト施策(運用等)の意見	備考
【交通計画】	①タクシーの乗降スペースはできれば10台程度確保してほしい。 ②一般車の広場内乗降スペースは必要である。 ③伊予鉄西駐車場利用の車で渋滞すると、近隣住民や沿道事業者の車両が渋滞に巻き込まれるため、2車線にして欲しい。	①愛媛銀行前交差点の東向き右折レーンの混雑が予想されるので検討してほしい。 ②花園町通りからの自転車の連続的な利用動線及び駐輪対策の検討をしてほしい。 ③タクシー乗降場の順番待ちが、周辺道路にはみ出さないような対策をしてほしい。 ④市駅前周辺の道路が渋滞すると集客力が低下し、活性化とはかき離するため、渋滞対策と広場整備をセットで進めてほしい。		
【施設整備】	①地下街の換気塔等設備が支障となるため検討が必要となる。 ②地下街出入口の階段部分に、雨水の進入のことを考えると屋根は必要である。 ③広場西通りのアーケードは広場改変に併せて、アーケード撤去を検討したい。 ④地下街に出入口の改修には、利用者の動線に配慮して、検討してほしい。 ⑤広場北側の地下街階段は店舗との距離が近く、可能なら配置替えや集約を検討してほしい。 ⑥バスロータリーの下の地下街に、バスチケットセンターや待合所を設け活性化を図ってもらいたい。 ⑦ゴミの置き場所と回収方法を検討してほしい。 ⑧西側軌道上を2階建てにして、デッキやステージ等を設置すれば、広場を見下ろせる空間ができ、1階イベント時の観覧スペースとして活用できる。		①北街区の再開発を小グループで合意形成を図っており、出来るだけ早く再開発に繋げたい。 ②西側の交流広場に道後温泉駅のような坊っちゃん列車展示スペースを設け、また、伊予鉄道本社内の坊っちゃん列車ミュージアムを広場内の集客施設にして、5才くらいの子供の記憶に残るような仕掛けを検討してほしい。	
【土地利用】	①軌道を西ビルへ突っ込む南北方向案があるようだが、その方が広場空間が広く、広場中央部の南北方向のスペースが広がる。 ②歩行者空間を広場内に出来るだけ広く取れるようにしてほしい。		①広場空間をまちづくりの視点で活用できるように中央商店街と連携して行ってほしい。 ②広場が出来ると、日切り地藏祭りのようなイベントを年間を通じて行い、賑わい集客に繋げたい。	
【事業計画】		①事業の早期完成を図る事業検討をして、工事期間は出来るだけ短くし、3年程度で早く整備してほしい。 ②交通面だけでなく、費用対効果を考慮して、経済、文化の観点を含め、総合的に考えて広場利用を計画してほしい。		